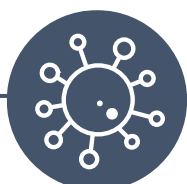


リモートSDV支援サービス

HOPE LifeMark-RemoteSDV

RemoteSDVで始める
ニューノーマル時代のSDV業務

＼ こんな課題ありませんか？ ／



感染症流行による訪問制限

COVID-19等の影響により医療機関が訪問制限を行った場合、SDV業務ができず治験に遅れが発生する。



医療機関訪問に係るコスト

遠方の医療機関に訪問する場合、高額な出張費用や人件費が発生する。



リモートへのセキュリティ面に関する懸念

診療情報を扱うため、情報漏洩やセキュリティ事故に配慮が必要。

これらの課題をHOPE LifeMark-RemoteSDVが解決します！

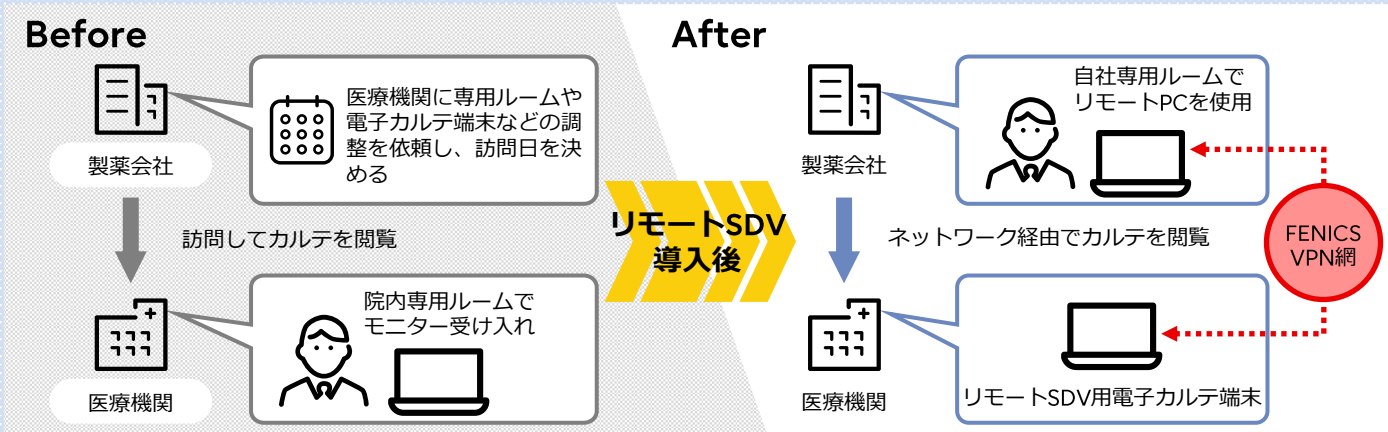
リモートワークにより、医療機関・製薬企業双方の働き方改革を支援いたします。

富士通が提供するセキュアなVPN網を利用した、ニューノーマル時代のSDV業務を実現します。

導入効果

医療機関

- 現場の負荷無く低コストで導入できる。
- 来院対応として閲覧室の準備といった作業が不要となる。
- 医療機関の立地条件による格差を減らし、治験受託件数増が期待できる。
- 感染症流行期でも訪問制限の影響を受けない。
- 弊社貸与端末からのみVPN網へ接続が可能なので、安心安全なリモートSDVを実現できる。



製薬会社

- 感染症流行期においても訪問制限による影響を受けない。
- 医療機関訪問時の出張費用（交通費・移動に係る人件費）を削減することができる。
- 時間を有効活用して働き方改革／DXを推進できる。



Q 不正な接続や電子カルテデータの持出し抑止の対策を知りたい。

A 運用とハードの双方から対策を行います。

- 製薬企業から医療機関への申請制を採用しており、医療機関が意図しない接続が行われないよう権限制御を行っています。
- 画面転送によるリモート閲覧なので、電子カルテデータの持出しはありません。またデータの持出しができないようセキュリティ対策が施された、リモートSDV専用シンクライアント端末を貸与します。

Q 訪問時と同じ内容を見ることができますか？

A 画面転送を行うため原資料の閲覧が可能です。

- 画面転送によるリモート閲覧のため、現地SDVと相違ない情報を閲覧できます。
- 厚労省ERES規制および米国FDA Part11で求められる要件と同等水準の対応を行っております。

お問い合わせ

富士通Japan株式会社

ヘルスケア事業本部 リモートSDV商談窓口